

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	7 月	17 日	記入者	垣内 博久	
調査者名	饗庭	石井	大谷	垣内	久門	鶴田

文化財名	竹内古墳群					
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()	
指定年月日	1982年(昭和57)3月12日					
所在地	葛城市竹内,當麻					
所有者 管理者	個人					
員数	34基(前方後円墳1基、方墳1基、円墳32基)					
時代区分	5世紀末から6世紀後半					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)		
案内板の状況	史跡の丘の2か所のうち4号墳前と北側あずまや前のものは汚れているが読める。					
公開	公開(史跡の丘としては1-4号墳+古墳状隆起物1基)					
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input checked="" type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い	
	補足 ()					
当面の課題	1986年(昭和61)開場の「史跡の丘」は整備されていないので、倒木や崩れで遊歩道がまともに歩けない。2か所ある案内地図板も一つはほとんど読めない。古墳の表示板も文字が消えており、3号墳は破損、2号墳は見当たらなかった。まず、「史跡の丘」の復旧が必要と思われる。					
今後の課題	「史跡の丘」は古墳群の一部(4基)であり、大部分は竹や草木、倒木に覆われている。個人所有地であるがどのようにしていくのか。他の古墳を見ることは困難。前方後円墳の22号墳は現在は宗教施設敷地内になっている模様。					
その他 (由緒など)	キトラ山と呼ばれる丘陵に展開する。一帯は弥生時代の遺跡。22号墳(前方後円墳)には前方部には横穴式石室、後円部には横穴式石室の抜き取り跡。茶山古墳(34号墳)には家形石棺が直葬され3体分の人骨等が出土。					
コメント	まず「史跡の丘」の修復が竹内古墳群にとって必要だが、一方でその他ほとんど(30基)を占めるエリアも視察できるようにできるのか。唯一の調査済みの茶山古墳(34号)や唯一の前方後円墳の22号墳を中心に遊歩道が出来ればと思う。					

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	7 月	17 日	記入者	垣内 博久	
調査者名	饗庭	石井	大谷	垣内	久門	鶴田

文化財名	竹内古墳群
------	-------

1号墳	3号墳
-----	-----



1号墳、3号墳、4号墳と入り口の表示板

「史跡の丘」の案内地図板(南ゲート広場)



古墳群の奥に向けて

説明板(あずまや前)

